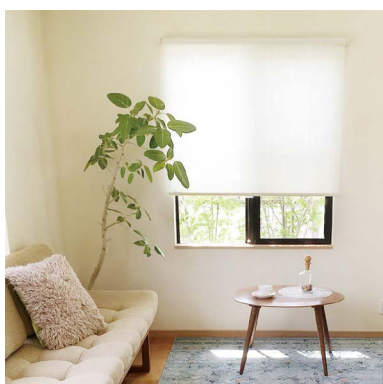


GLOBE

グローブ

コロナ禍でも需要回復を追い風に増収増益 EHD事業も着実に前進



事業概況のご報告
TOP MESSAGE



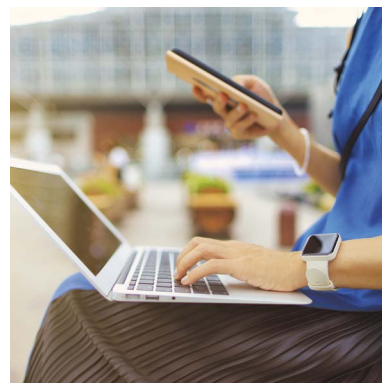
NEXT INNOVATION
デジタル分野向け先端材料の
開発を加速



NICCA REPORT
美容室専売ヘアケアブランド
「イーラル」
より高機能でサステナブルに



TOPICS



これからも、ずっと、輝く未来。

Activate Your Life



日華化学株式会社

株主の皆様へ



代表取締役社長

江守康昌

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年12月期（第108期）第2四半期決算概況についてご報告申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が制限される状況が続いている一方、製造業を中心とした一部の業種で需要回復がみられた上半期の売上高、営業利益は、経費抑制、減価償却費の減少もあり、化学品事業、化粧品事業ともに前年同期比で大幅な増収増益となりました。また、今年2月に発表いたしました新中期経営計画「INNOVATION25」の基本戦略における注力事業「環境/Environment」「健康・衛生/Health」「先端材料/Digital」の3つの領域（EHD事業）も2019年の事業売上高比率25%から30%に向上し、2025年の目標である50%に向け着実に推移しております。

昨年度はコロナ禍の影響もあり厳しい状況で株主の皆様には大変ご心配をおかけいたしました。変わらぬご支援をいただいていることに心から御礼申し上げます。当社の全社基本ビジョン「世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー」のもと、サステナブルな社会の実現に向け課題解決に挑戦し、化学メーカーおよび化粧品メーカーとしての使命にお応えできるよう、引き続きグループ一丸となって邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

▶ 2021年12月期（第108期）第2四半期決算概況

売上高 **241億円** **22.0%増**

- コロナ禍の影響を受けるも繊維化学分野等の一部事業分野での流通在庫積み上げ等により需要回復
- 化学品事業新規分野・化粧品事業大口受託案件等の伸長
- 対アジア通貨円安による増収

営業利益 **14億1千3百万円** **315.8%増**

- 売上高増・経費抑制による利益増
- 減価償却費減少

経常利益 **15億9千6百万円** **239.0%増**

- 営業利益増による増益

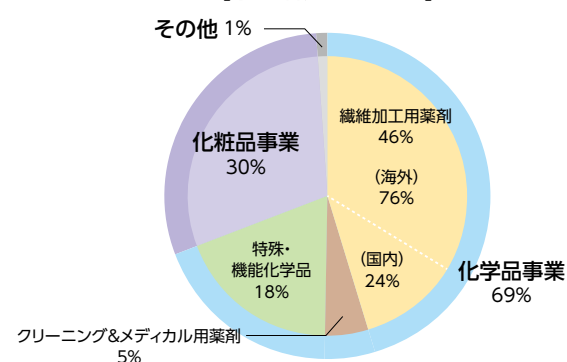
親会社株主に帰属する

当期純利益 **15億8千3百万円** **801.5%増**

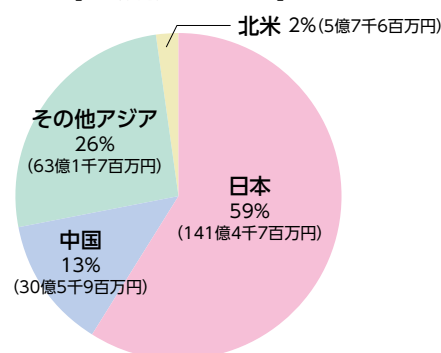
- 経常利益増による増益
- 固定資産売却益増

※上記はすべて連結の情報です。※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
※%表示は前会計年度比です。

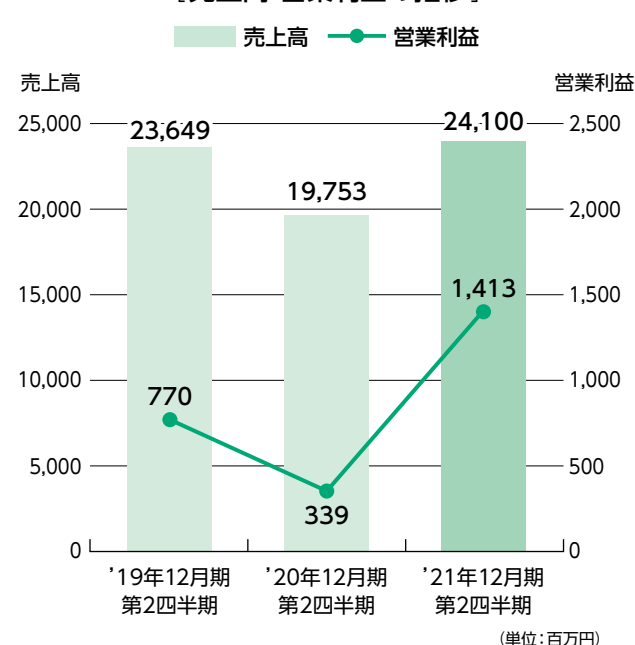
【事業別売上高比率】



【地域別売上高比率】



【売上高・営業利益の推移】



化学品事業



繊維化学品

- 繊維加工の一連の工程（精練・漂白・染色・捺染・仕上まで）を網羅する多様な薬剤



クリーニング・メディカル用薬剤

- 業務用クリーニング・リネンサプライ業界向け薬剤
- 医療用器具・福祉分野用洗浄剤等



先端材料

- 機能性人工核酸、精密制御ポリマー、機能性ナノ材料



特殊化学品

- 感熱紙用顔色剤、AOA等の有機合成化学品
- 製紙用薬剤、金属・ゴム・電子材料用界面活性剤等



機能化学品

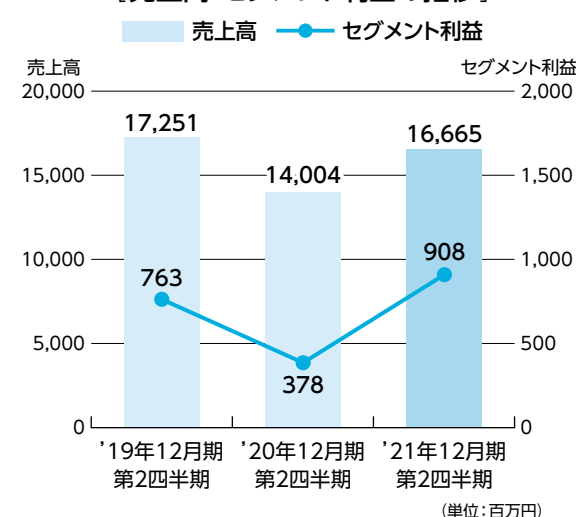
- 水系ウレタン樹脂等の機能ポリマー
- フッ素・シリコン等の工業用薬剤

売上高 **166億6千5百万円** **19.0%増**

セグメント利益 **9億8百万円** **139.9%増**

- +
- +
- +
- +
- +
-

【売上高・セグメント利益の推移】



化粧品事業



美容室向け髪用化粧品

- 「デミ」「イーラル」ブランドで、シャンプー、トリートメント等のヘアケア剤等を提供

ODM・OEM

- 髪用化粧品の相手先ブランド受託生産



一般通販

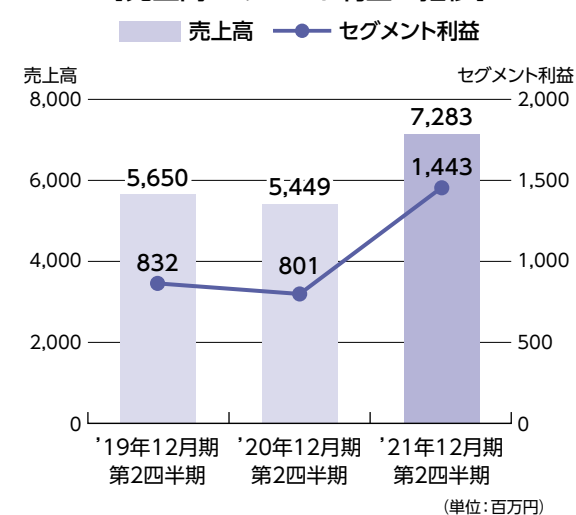
- フェイシャル基礎化粧品ブランド「アンサーージュ」のインターネットによる通信販売

売上高 **72億8千3百万円** **33.7%増**

セグメント利益 **14億4千3百万円** **80.1%増**

- +
- +
- +

【売上高・セグメント利益の推移】



※上記はすべて連結の情報です。※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。※%表示は前会計年度比です。



代表取締役社長

え も り や す ま さ

江守 康昌

コロナ禍でも需要回復を追い風に増収増益 EHD事業も着実に前進

2021年12月期(第108期)第2四半期連結累計期間の業績は、売上高241億円(前年同期比22.0%増)、営業利益14億1千3百万円(同315.8%増)、経常利益15億9千6百万円(同239.0%増)となりました。代表取締役社長・江守康昌が上半期の業績を振り返るとともに、下半期の見通しや注力する取り組みについて語ります。

企業体質の強靱化が奏功

2021年12月期(第108期)第2四半期連結累計期間の業績は大幅な増収増益となりました。新型コロナウイルスの影響を大きく受けて業績が悪化した前期だけでなく、コロナ禍前の2019年に比べても増収増益となり、先行き不透明な経営環境の中でも、新中期経営計画「INNOVATION25」の達成に向け、着実に前進していると感じています。業績が好転した要因として、化学品事業ではコロナ禍の影響が続く状況においても中国や欧米の景気が上向き、繊維加工分野、自動車分野などの需要が回復を見せたことが挙げられます。コロナ禍による低迷から今年は多くの企業が縮小傾向にあった事業活動を活発化させたのに伴い、製品や資

となりました。

化粧品事業でも、山田製薬(※1)の大口受託案件の受注増に加え、コロナ禍の影響で昨年停滞傾向にあった新規案件も再び動き出すなど、好調に推移しました。

これらに加え、前期からの徹底的なコストダウン、働き方の多様化など業務の効率化にも引き続き注力し筋肉質な企業体質を継続したこと、設備投資の減価償却費が減少したことも、大幅な増益につながりました。また、収益性の高い化粧品事業の売上比率が高まったことも増益の要因となりました。

この結果、連結キャッシュフローは大幅に改善し、有利子負債が2020年末に比べ約28億円減少したほか、ROA、ROE、EBITDAといった経営指標も大きく向上し、自己資本比率は44.7%に高まりました。

特殊樹脂モノマーなど 新たな注力分野が牽引

セグメント別に見ると、化学品事業では、先ほど述べた要因のほかにも、スマートフォンやパソコン向け光学部品材料として使用される特殊樹脂モノマーが大きく伸長しました。

抗菌・抗ウイルス加工剤も需要が拡大しています。今年5月には当社の抗ウイルス・抗菌防臭剤を加工した繊維素材に、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)(※2)に対する抗ウイルス効果を確認することができました。繊維加工用途のみならず、不織布や合成皮革、フィルム、塗料・コーティング等、繊維以外の分野への展開も進めているところであり、大手家具メーカーのダイニングテーブルにも採用が決まるなど、既に多くの引き合いをいただいています。

また、DX(※3)の進展に伴い、ニーズが急増している半導体や電子材料の製造に用いられる高機能フッ素化成品や、有機溶剤を含まず、人体や環境に対する安全性に優れた水系ウレタン樹脂(※4)も塗料やフィルム用途で伸長しました。



テーブルや合成皮革のソファなど、繊維以外の様々な製品にも抗菌・抗ウイルス加工の用途が広がっています。

ヘアケアODM事業好調で 増収増益に大きく貢献

化粧品事業は先述したように、山田製薬におけるヘアケアODM(※5)事業の大口顧客からの需要増が大幅な増収増益を牽引しました。コロナ禍以前から取り組んできたODM新規獲得案件が動き出したことも業績向上の原動力となりました。

国内の主力であるデミ コスメティクスについては、度重なる緊急事態宣言などによって市況が振るわない中でも、主力ヘアケアブランド「フローディア」の拡販などにより堅調でした。4月には当社グループ最高峰のブランドである美容室専売エイジングケア「イーラル」をよりサステナブルなブランドとして全面リブランディング(詳しくはP6をご覧ください)しており、今後の業績向上に大きな効果をもたらしてくれるものと期待しています。

デミ コリア(※6)も国内同様、コロナ禍の中で美容室の来店客数は十分回復してはいないものの新規取引先の開拓、新商品効果で増収増益を果たしました。

成長のカギは「EHD事業」推進

2021年12月期の通期業績に関しては、今年2月時点での予想を上方修正しましたが、上期に比べて下期は売上高、利益ともに伸び率が鈍化すると予想しています。

理由の一つは依然として市場の先行きが不透明で、予断を許さない状況にあることです。コロナの流行が世界的に再拡大すれば、経済に急ブレーキがかかる懸念もあります。また、上期にあった流通在庫の積み増しのような特需は期待できません。ナフサ由来の原材料が高騰していることも利益を圧迫すると見込んでいます。

しかし、こうしたマイナス要因を跳ね返し攻めの姿勢で、2月に発表した「INNOVATION25」の目標を達成するべく全力を尽くしてまいります。

カギとなるのは「EHD事業」の推進による社会課題解決への貢献です。例えば「E領域(環境/Environment)」において、化学品事業では水系ウレタン樹脂やフッ素フリー系撥水剤(※7)など環境対応と機能性を兼ね備えた製品の開発・拡販に引き続き注力します。化粧品事業ではよりブランディングした「イーラル」の拡販を進めます。「H領域(健康・衛生/Health)」では、本社に整備した抗ウイルス性試験設備をフル稼働させ、抗菌・抗ウイルス加工剤の用途拡大を図っていきます。「D領域(先端材料/Digital)」では、特殊樹脂モノマー等の開発以外にも、需要が拡大する半導体ウェハー分野で独自の資源循環型ビジネスモデルを確立している大智化学産業(※8)の水溶性クラーント剤の販路開拓もさらに強化していきます。



需要が拡大する半導体ウェハー用シリコンインゴット。大智化学産業は切断加工時に摩擦抵抗を抑えるため使用するクラーント剤の水溶性製品を他社に先駆けて開発しました。

「INNOVATION25」では、こうしたEHD事業の売上比率を2019年の25%から2025

年に50%に高める目標を掲げています。この比率は現時点で30%になっており、十分目標を達成できる見込みで、「2023年に売上高500億円」という経営目標に向け成長軌道を歩んでいます。

国内の電力由来CO₂が約半分に

また、「INNOVATION25」では、サステナブル経営の推進も柱の一つであり、2030年にグループ全体のCO₂排出量を30%削減(2018年比)する目標を掲げています。目標達成に向けた取り組みの一環として、今年8月からは福井県内の事業所で使用する電力をすべて水力電源由来に切り替えました。これにより当社グループの国内主要事業所から発生する電力由来のCO₂が半減することになります。

今後も環境に優しい事業経営を強化するとともに、先に述べたEHD事業に軸足を置き、環境負荷の低減につながる製品や技術をお客様に提供することで、SDGsの達成、さらには持続可能な社会づくりに貢献していきたいと思っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

なお、来年4月に東京証券取引所が実施する市場再編についての当社方針は、上場維持基準などについて十分に検討を重ねた上で、期限である今年中に決定し公表させていただきます。

下期につきましても、さらなる企業価値向上を目指し様々な取り組みを着実に実行してまいりますので、皆様には当社グループに対し、変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

用 | 語 | 解 | 説

【※1】山田製薬(株)

1910(明治43)年創業(本社:東京都中央区)。1995(平成7)年に当社が買収した子会社。ヘアケア、スキンケア、口腔ケア、消毒剤等の受託製造販売を手がけています。

【※2】SARS-CoV-2

新型コロナウイルスのウイルス名。Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2の略。COVID-19は、病名「新型コロナウイルス感染症」Coronavirus Disease 2019の略。

【※3】DX

デジタルトランスフォーメーションの略。企業がデジタル技術を活用し、製品やサービス、ビジネスモデル、業務などを変革すること。

【※4】水系ウレタン樹脂

人工皮革、塗料、接着剤などで使用されるウレタン樹脂は溶剤系、水系に大別でき、環境負荷低減のために水系品が求められています。

【※5】ODM

Original Design Manufacturingの略で、相手先のブランドで当社が剤のレシピをはじめとした製品設計から製造までを担当すること。

【※6】デミ コリア

2012(平成24)年、韓国に設立した子会社。韓国美容室市場でデミ コスメティクス商品を販売しています。

【※7】撥水剤

繊維加工工程の中で、繊維に水分をはじく機能性を付与する加工薬剤。従来の撥水機能は主にフッ素化合物によるものでしたが、より環境と健康に優しいフッ素フリー系撥水剤が求められています。

【※8】大智化学産業(株)

1966(昭和41)年創業(本社:東京都中央区)。2015年に当社が買収した100%子会社。半導体ウェハーなどの加工用高純度クラーント剤のトップメーカー。

デジタル分野向けの先端材料開発を加速 スペシャルティケミカル事業部新設

新中期経営計画「INNOVATION25」に掲げた重点領域の一つ、デジタル分野向けの「先端材料」領域（以下D領域）は、スマート社会の進展などを背景に、先行き不透明な経営環境においても、当社の技術を生かし大きな成長を見込める分野です。D領域への事業展開を強力に推進するため、当社は今年1月にスペシャルティケミカル事業部を新設しました。取り組みの詳細について、執行役員スペシャルティケミカル事業部長の島田昌和に聞きました。



執行役員 化学品部門
スペシャルティケミカル事業部長
しまだ まさかず
島田 昌和

新体制で開発・事業化を加速

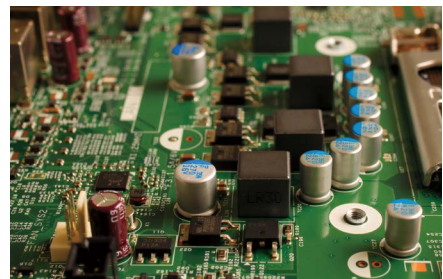
当社は今年2月に発表した新中期経営計画「INNOVATION25」において、「EHD（環境/Environment、健康・衛生/Health、先端材料/Digital）」の3領域を重点領域に定め、事業活動に取り組んでいます。

D領域をより強力に推進するために立ち上げたのがスペシャルティケミカル事業部です。デジタルトランスフォーメーションが加速する中、これまで培ってきた技術を生かしながら先端情報技術分野で必要とされる技術や材料を創出し、事業として育成することがミッションです。

当事業部は、これまで製紙用薬剤や金属用洗浄剤など繊維加工以外の化学品事業を推進してきた「特殊化学品事業部」と、フッ素化成品や水系ウレタン樹脂などの新規用途展開に取り組んできた「未来創造室」を統合した組織で、中期経営計画をより早く確実に達成するために、それぞれの事業リソースを効率的に活用できる組織へ改編したものです。また、事業部内に事業開発・支援部を新設し、次世代を見据えた技術・材料の事業化推進やD領域のグローバル展開を加速させる体制を整えました。

世界的メーカーなどへ着実に採用進む

D領域での事業拡大に向け、特に将来性を見込んでいる二つの取り組みを紹介いたします。



当社のマスキングオイルが加工工程薬剤として使われているフィルムコンデンサイメージ

一つはフッ素化成品の展開です。フッ素化成品は耐化学薬品性や耐熱性に優れるなど物性が安定しているのが特長で、電子部品の加工工程など過酷な環境下で使われる特殊な用途向けの製品に適しています。既にフィルムコンデンサ（※1）の加工工程で使われるマスキングオイル（※2）や潤滑剤などで採用されており、今後さらに需要拡大を見込んでいます。

また、当社の合成技術を生かした新規材料開発も加速させています。例えば、5Gのみならず6Gといった次世代通信でニーズの高まっている高周波・低誘電材料をターゲットとし、高周波を通しやすく機能を阻害しない高機能フッ素系高分子等での採用を目指しています。

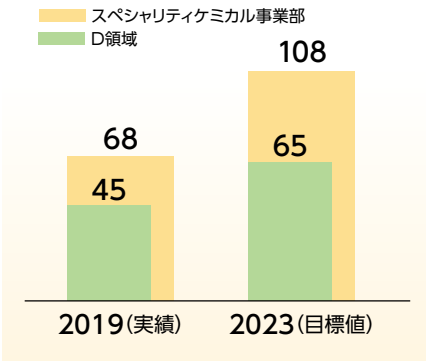
もう一つはデジタルデバイスの光学部品などに使用される様々な特殊樹脂および原料の技術開発です。デジタル分野で使われる樹脂は、例えば金属など異種材料との接着性、透明性、密着性など複数の機能が同時に求められることが多々あります。当社が開発した樹脂や原料はこうしたニーズに対応し、世界的にもシェアの高いスマートフォン・パソコン向け光学部品材料や液晶テレビ画面に使われる特殊なフィルム用などに採用いただいています。

企業姿勢と柔軟な対応力が強みに

これらの技術・製品の開発、製造にあたり強みとなっているのが「製品を売るにあらずして技術を売る」という当社の創業時からの信条です。大量生産型のメーカーでは難しいとされる細やかな処方調整など、お客様と対話し柔軟な対応力でご要望に合わせた製品開発を行い、より付加価値の高いニッチなニーズ獲得に成功しています。さらに近年の国内外工場への設備投資によって製造・品質管理体制を強化し、対応までのスピードや適応力も大幅に向上しました。

D領域は今後ますます成長が見込める

スペシャルティケミカル事業部とD領域の売上高（単位：億円）



分野ですが、急速に変化していく市場に対応するにはスピードが重要です。そのため、当社では当領域での知見やネットワークを有するパートナーとの協働により開発を加速させ、共に成長を目指しています。

INNOVATION25では2023年にスペシャルティケミカル事業部として売上高40億円増（19年比）の108億円、D領域で20億円増（19年比）の65億円の目標を掲げています。既に2019年までほとんど売り上げのなかった光学部品材料向け特殊樹脂モノマーの販売量が急拡大するなど成果を上げており、視界は良好です。

「まだ世の中にない、当社にしかできない技術・製品開発を実現できる可能性が大きいある分野。大きな夢を持ってチャレンジしていきたい」と島田は話します。2025年には繊維化学品事業、化粧品事業に続く第3の柱へと成長させ、人々の暮らしをより豊かにするような高付加価値製品の創出・育成を通じてサステナブルな社会の実現に寄与していけるよう層力を注いでまいります。

用語解説

【※1】フィルムコンデンサ

電子基板の部品の1つで、絶縁体としてプラスチックフィルムを使用しているもの。コンデンサの中でも高性能・高精度用途で用いられる。

【※2】マスキングオイル

電子部品の加工処理時に材料を部分的に保護するために使用される薬剤のこと。

EraL 髪的美しさを土台から創る美容室専売ブランド | イーラル |

誕生から10年、初のリブランディング より高機能でサステナブルなブランドに刷新

2010年に誕生した、頭皮と髪のエイジングケア（※年齢に応じたお手入れ）に注力した美容室専売ブランド「EraL（イーラル）」。「髪も、世界も、美しく。」を新たなコンセプトに、多様化するお客様の頭皮や髪の悩みにさらにアプローチできる商品や施術へ全面刷新するとともに、環境に配慮したパッケージを導入するなど、よりサステナブルなブランドへ進化しました。その詳細について、当社子会社イーラル（株）副社長の川村悠悟と日華化学化粧品部門イーラルブランドマネージャーを務める菅原里美に聞きました。

リピーターが絶えない人気ブランド

イーラルは、植物と科学のチカラを徹底的に研究し、プロダクト（商品）とプログラム（施術）により髪的美しさを土台から創り出すことを目的としたブランドで、ヘッドスパが注目され始めた2010年に、業界に先駆け立ち上げました。頭皮環境を本来の機能に導く独自のヘッドキュアメソッドとヘアケア商品は、「加齢に伴う頭皮や髪の悩みを的確にケアできる」と美容師さんから驚きをもって評価いただき、一般的なリラクゼーション効果のヘッドスパとは一線を画す、リピーターが絶えない人気ブランドに成長しました。

イーラルをお取り扱いいただけるのは、キュアリスト（※1）が所属する美容室のみです。導入のハードルは高いのですが、お客様に喜ばれる高付加価値なブランドとして高く評価され、現在は全国約1,000店舗に導入いただいています。

サステナビリティへの取り組みを強化

今回、リブランディングに踏み切った理由は大きく二つあります。一つは、より多様化したお客様の頭皮や髪の悩みに寄り添い、最新のエイジングケアできめ細かく対応するため。もう一つはサステナビリティへの取り組みを強化することで美容室やお客様の生涯のパートナーとなり、事業としてより成長していくためです。

ブランドラインは、基幹ブランドである「イーラル」のほか、男性の悩みに特化した「イー

ラル オム プライム」、ブランド最高峰でエイジングなどの女性特有の悩みをケアする新機能を追加した「イーラル プルミエ」の3ラインです。いずれもイーラルが強みとする植物由来の天然成分と皮膚科学・毛髪科学の理論を融合した高機能処方によって全面刷新し、お客様のニーズに合わせて適切な商品をより選びやすく、またエイジング毛（※2）のケアへの実感より高め、目指す髪的美しさを叶えます。



商品パッケージには、ポンプ容器にバイオマスPET、詰め替え用にスマートecoパックを採用し、これらは原料に植物由来素材が多く使用されています。さらに個装箱にはFSC認証紙（※3）を採用するなど、地球環境に配慮しました。



また、業界で初めて、美容師さんを目指す若者をバックアップする給付型奨学金制度



イーラル株式会社
副社長 兼 営業部長
かわむら ゆうご
川村 悠悟



日華化学 化粧品部門
イーラルブランドマネージャー
すがわらさとみ
菅原 里美

を創設。キュアリスト育成のための教育プログラム「イーラルキュアリストアカデミー」を授業として採用する美容学校の学生が対象で、多くの美容学校から関心が寄せられ、既に数校で取り組みを開始しています。

ニーズを捉え生涯愛されるブランドへ

今春の発売以降、進化した商品の機能性やサステナブルに取り組む理念、パッケージデザインのすべてに高い評価をいただき、「イーラルを扱いたい」という新規のオファーが続々と寄せられています。

ヘッドスパなどの頭皮ケア市場が年々拡大する中、リブランディングを弾みに3,000店舗への導入を見据え、着実に拡販を進めています。これからも時代のニーズをふまえた商品やサービス、教育支援を提供し、「ヘッドキュア」のハイブランドとしてさらに価値を高めていくことで、美容師さんやお客様に生涯愛される唯一無二の存在となっていきたいと意欲を燃やしています。



用語解説

【※1】キュアリスト

イーラルの認定を受けた美容師さんで、修練を積んだヘッドキュア技術と頭皮や髪の専門知識を習得したスペシャリスト。

【※2】エイジング毛

加齢やホルモンバランスなどの変化によって、髪の毛の主成分であるタンパク質が正常に作られなくなり髪質が変化した状態のこと。

【※3】FSC認証紙

Forest Stewardship Council®（森林管理協議会）によって認証された、適正に管理された森林木材による紙製品のことで、積極的なFSC認証紙の採用により、環境・経済両面で持続可能な森林管理を支持できる。

6月 新型コロナウイルスへの抗ウイルス効果を確認

当社の繊維加工用抗菌・抗ウイルス剤を加工した繊維素材に、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2※1)に対する抗ウイルス効果があることを確認※2いたしました。現在の抗ウイルス成分の主流である銀系、銅系等の無機系抗ウイルス加工剤を加工した素材に比べ、当社製品を加工した素材は、短時間で抗ウイルス効果を発揮するほか、塗布した被膜の透明性が高く基材の外観を損なわない利点があります。不織布、合成皮革、フィルム、塗料・コーティング等、繊維素材以外の分野へも展開を進めており、今後も身近なシーンの様々な製品・部材に対し抗ウイルス機能を付与することで、より清潔で衛生的な生活環境づくりに貢献してまいります。

※1 SARS-CoV-2: 新型コロナウイルスのウイルス名。Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2の略。
COVID-19は、病名「新型コロナウイルス感染症」Coronavirus Disease 2019の略。

※2 試験機関: ①一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター ②フランスウイルス研究所[VirHealth]



抗菌・抗ウイルス加工されるタオルや
インナーウェアのイメージ

6月・7月 コロナ禍においての当社の地域協力

コロナ禍が続く中、当社は本社を置く福井県への地域貢献活動として、マスク10万枚と県内コロナワクチン接種センターに対して手指消毒剤「エコルセ(詳細はこちら)」を無償提供いたしました。また県外への修学旅行が中止となった県内中学生約100名の受け入れを行い、当社の研究開発拠点NICCA イノベーションセンターの見学や実験教室、若手社員との交流を通し、修学旅行の一環として研究開発の仕事の楽しさを体験していただきました。今後も積極的に地域協力に取り組んでまいります。



当社社員による実験教室の様子

8月 福井県内事業所の電力由来CO2排出量ゼロ

当社の福井県内事業所(本社、鯖江工場)において、北陸電力のグリーン特約(アクアグリーン)※を導入し水力電源100%の電力利用に切り替えました。これによりグループ国内主要事業所の約半分となる年間約2,800トンのCO2排出量がゼロとなります。引き続き他の国内外の主要事業所においても、CO2排出量削減に向け再生可能エネルギーへの切り替えを進めるなど、新中期経営計画「INNOVATION25」における新たな経営目標「2030年にグループ全体のCO2実質排出量30%削減(2018年比)」の達成、および持続可能な社会の実現に向け取り組みを加速してまいります。

※グリーン特約(アクアグリーン): 北陸電力が高圧・特別高圧の利用者向けに提供する、水力電源100%でCO2排出量ゼロの電気を利用する電気料金メニュー



北陸電力の水力発電所

6月発売

デミ コスメティクス ヘアカラーブランド「フュージョニスト」より 新色とカラートリートメント新発売!

デミ コスメティクスの「フュージョニスト」より、新色「ベージュライン」と、自宅でのカラーケアが可能なカラートリートメント「ミルクティエグロウ」を新発売いたしました。人気のベージュ系カラーが簡単に表現でき、さらにミルクティエグロウでサロンカラーを長くお楽しみいただけます。(詳細はこちら)



カラートリートメント
「ミルクティエグロウ」



FUSIONIST

株主優待品制度の ご案内

当社では株主の皆様のご支援にお応えするとともに、当社の事業に対するご理解をより深めていただくことを目的に株主優待制度を導入しております。詳しい内容につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年6月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4-1
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 フリーダイヤル 0120-782-031
※取次事務は三井住友信託銀行の本店および全国各支店で行っております。
上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部・名古屋証券取引所 市場第一部
単元株式数 100株
証券コード 4463

【住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について】株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行にお申出ください。【未払配当金の支払について】三井住友信託銀行にお申出ください。

表紙写真説明 ▶ 【左上】抗菌・抗ウイルス加工剤の用途例。ロールカーテンやカーペット、家具類にも展開 【右上】2月にリニューアル発売した「イール プルミエ」
【中央】フッ素化成品の研究開発メンバー 【左下】半導体ウェハー用シリコンインゴット。切断加工時に当社グループのクーラント剤が使用される
【右下】D(先端材料)分野の特殊樹脂等が使用されるスマートフォンやパソコンのイメージ



日華化学株式会社
NICCA CHEMICAL CO., LTD.

さらに詳しい情報・バックナンバーは www.nicca.co.jp

発行/日華化学株式会社 〒910-8670 福井市文京4丁目23-1 TEL (0776) 24-0213(代)
発行月/2021年9月 通算41号